

# 105-254

## 問題文

前問で推奨された薬物の1つ(薬物Aとする)を追加して治療を行っていたが、狭心症発作を起こした。そこでジルチアゼムが追加処方されたが、徐脈が起きたため、ジルチアゼムとの相互作用を疑い薬物Aを中止した。中止した薬物Aの作用として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. ブラジキニン分解抑制
2. 心筋L型 $\text{Ca}^{2+}$ チャネル遮断
3. 血管平滑筋アドレナリン $\alpha_1$ 受容体遮断
4. 血管平滑筋可溶性グアニル酸シクラーゼ活性化
5. 心筋アドレナリン $\beta_1$ 受容体遮断

---

## 解答

問254 : 2, 4問255 : 5

## 解説

### 問254

選択肢 1 ですが

Ca 拮抗薬である ニフェジピン服用で血圧コントロール不良なので、別の作用機序の降圧薬が適切と考えられます。アムロジピンは、ニフェジピンと同じ Ca 拮抗薬の一種です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

メトプロロールは、 $\beta$  遮断薬です。心臓を休めることによる保護も期待できる降圧薬として、心筋梗塞後の降圧コントロール不良における追加薬物として適切と考えられます。

選択肢 3 ですが

プラゾシンは、 $\alpha$  遮断薬です。ACE 阻害薬等の、心保護機能も期待できる降圧薬と比較すると、追加推奨ではないと考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

エナラプリルは ACE 阻害薬です。心保護機能も期待でき、心筋梗塞後の降圧コントロール不良における追加薬物として適切と考えられます。

選択肢 5 ですが

ヒドラジンは血管拡張薬です。反射性交感神経亢進により、心臓の仕事量が増加し、症状を悪化させるおそれがあるため、心筋梗塞等の虚血性心疾患に対して使用禁忌です。

以上より、問 254 の正解は 2,4 です。

### 問255

ジルチアゼムは Ca 拮抗薬です。心筋細胞の  $\text{Ca}^{2+}$  チャネルを遮断することで心機能を抑制します。 ( )

メトプロロールによる  $\beta$  遮断により、こちらも心臓を休めます。これらの相互作用により、心機能が抑制されすぎた結果の徐脈と考えられます。

以上より、問 255 の正解は 5 です。